

平成23年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

第1問（配点40点）

A社の主力事業である医療品業界の環境変化と事業強化に関して、基本的理解力と分析力を問う問題である。

（設問1）

一般家庭用医療品の営業活動と医家向け医療品の営業活動の違いを問うことによって、顧客に対するA社の組織的対応の違いについて基本的理解力を問う問題である。

（設問2）

医家向け市場といった新しい市場へのA社の参入が、どのような背景・条件の下で行われたのかについて分析する能力を問う問題である。

第2問（配点20点）

独自製品の企画、開発に導入・活用されたノウハウと技術の保護について、A社の特許戦略上の意図を分析する能力を問う問題である。

第3問（配点20点）

中小企業の多くにみられる創業家一族経営が事業に及ぼす影響を踏まえ、A社にとって所有と経営の分離がどのようなメリットとデメリットをもつかについて、基本的理解力を問う問題である。

第4問（配点20点）

一定の成長を確保しているA社が継続的に成長していく組織能力を維持・強化していくための組織管理上の施策について、助言能力を問う問題である。

以上